

しまね 「エシカル」さんぽ

島根県内で見つけた
「エシカル」につながる（エシカってる）
行動や事例を Facebook で紹介
しています。

vol.12

「衣服」の来し方 木綿、それは農産加工物

Upload:

2022/11/30

5月中旬に定植した綿が収穫の時期を迎えている。
綿の苗の定植イベントで始まった「衣服」のできる過程を見守るプロジェクトは、原材料の収穫を終えると、加工へと進んでいく。

「元々の綿を洗っただけだと、こんな生成りの色になります」

11月半ばに開催された綿摘みのイベントは、綿の性質や今後の工程を聞いた後に、いよいよ作業を開始。20人ほどの参加者は、口を開けた綿の実を見つけては、種をくるんだ綿を引き抜いて集めていく。

1時間ほどの作業で集まった綿は、Tシャツならば3枚程度の量になるという。



寒くなると綿の実は口を開けにくくなる。

冬の間、刈り取った綿を室内に置き、開口した実から少しずつ綿を集め、冬を終える頃、木綿の糸になるべく次の工程に向かっていく。

日本の農村では、一年間に使う味噌の仕込み、秋にとれた穀物の脱粒・脱穀など、圃場に出ずに出来る作業を農作業ができない冬に行っていたのだろう。

糸を紡ぎ衣服を作る仕事も、このような農産物の加工作業のひとつだったのか。そんなことを思いながら、集められた

ほの茶色いふわふわの綿の塊を見た。

5月に発芽した綿の種から衣服ができる工程は、まだまだ道半ば。この春、綿花から糸に変わっていく木綿は、織り手により布になり、縫い手により衣服に仕立てられる。

こうして仕上がった衣服に、どのような価格が見合うのだろう。

(定植イベントについてはこちら↓)

- ◆ しまね「エシカル」さんぽ vol. 9
～「衣服」の来し方 綿の発芽からたどる試み～

<https://www.facebook.com/Shimane.CIC/posts/378568390976762>

※ご縁の国エシカルライフ～サステナブルファッションイベントの啓発動画にご協力いただきました。

- ◆ 島根の大地から産み出された洋服（加藤完一商店）

<https://www.youtube.com/watch?v=HXTfJlB5orE&t=60s>

「エシカル消費」の推進

「エシカル (ethical)」とは、「倫理的、道徳的」という意味の英語。

「エシカル消費」とは、より良い社会に向けた、人や社会、環境などに配慮した消費行動のことです。

詳しくは、島根県消費とくらしの安全室の「エシカル消費の推進」のページをご覧ください。

https://www.pref.shimane.lg.jp/life/syoku/shohi/kurasi_info/ethical.html

島根県環境生活部環境生活総務課
消費とくらしの安全室（島根県消費者センター）
〒690-0887 島根県松江市殿町8-3



島根県消費者センター

Facebookは
こちらから→



[facebook.com/Shimane.CIC](https://www.facebook.com/Shimane.CIC)